

交通安全へ願いを込めて

平成23年、京都府内で起きた交通事故で当時4歳の男の子が亡くなり、生前、男の子が大切にしていたひまわりの種が御両親から警察に託されました。この種から増えたひまわりを育て、大輪を咲かせることで、「命の大切さ」と「交通事故根絶の願い」を伝える取組を行っています。

伊東警察署

ひまわりの絆プロジェクトに協力してくれた、伊東市立玖須美保育園を警察官と交通安全指導員が訪問しました。



お礼のお手紙をいただきました。



反射材などを配布しました。

玖須美保育園では、先生やひまわり組（5歳児）の園児が育てたひまわりが、大輪の花を咲かせ、他の園児や園を訪れる方たちに命の大切さと交通事故根絶の願いを伝えてくれました。

ひまわり組のみなさんはこの春、小学校に進学されます。ひまわりを育ててくれた感謝とお祝いの気持ちを込めて、反射材とひまわりの種を配りました。

園児のみなさんからは、お礼のお手紙をいただきました。

これからも、各地で大輪のひまわりが咲くことを願っています。